

# 震災と林道

「命をつなぐ道」

岩手県内には3474km（平成22年3月現在）の林道があり、同23年3月11日に発生した「東日本大震災」では、これらの林道の一部が緊急路や迂回路として活用されたので紹介します。

## 【大骨線】釜石市

大地震により大津波が発生し、国道45号は釜石市内各地で寸断され、同市鶴住居町の県営アパートや外山地区住民にとって、大骨線が迂回路となった。（全線利用）

## 【五葉線】釜石市

大津波により釜石市唐丹町が孤立状態となり、五葉線の一部区間を除雪開通させ、自衛隊や消防の緊急路を確保した。（一部利用）

## 【五本松峠線】釜石市、大槌町

大津波により大槌町小鍬地区が袋小路の状態となったが、五本松峠線を経由し、釜石市栗林町まで

通行が可能となった。（一部利用）

## 【安渡赤浜線】大槌町

大槌町安渡地区と同町赤浜地区を連絡する県道が不通の間、安渡地区の孤立住民の一部は、安渡赤浜線を利用し、国道45号への陸路を確保した。（全線利用）

## 【城山1号線、2号線】大槌町

大地震に伴う大規模火災が大槌町の避難所の一つである中央公民館付近に及んだ際、城山1号線、2号線が二次避難に利用された。また、中央公民館には災害対策本部が設置され、同線は迂回路としても利用された。（全線利用）

## 【吉里吉里線】大槌町

吉里吉里漁港地区の海沿いの道路が不通の間、緊急迂回路として利用された。（全線利用）

## 【崎山線】大槌町

終点付近に特別養護老人ホームがあり、海沿いの道路が不通の間、緊急迂回路として利用された。（全

線利用）

## 【赤崎線】大船渡市

大津波により県道が不通となり、大船渡市赤崎町後ノ入地区と同町永浜地区とを連絡する迂回路として利用された。（一部利用）

## 【横田沢線】陸前高田市

大津波により国道340号及び国道343号が不通となり、陸前高田市横田町と同市矢作町とを連絡する迂回路として利用された。（全線利用）

森林保全課林道担当

019(629)5800

